

同時発表：国土交通省港湾局、富山市



令和4年7月8日
北陸地方整備局
港湾空港部
伏木富山港湾事務所

「みなとオアシス富山」を登録します ～物流・人流の歴史を体験できる水辺空間～

国土交通省港湾局は、令和4年7月14日に「みなとオアシス富山」(富山県富山市)を港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」として登録します。

代表施設である「岩瀬カナル会館」等において、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながることが期待されます。

○「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。

○「みなとオアシス富山」の登録により「みなとオアシス」は全国 155 箇所になります。

○7月14日(木)に「みなとオアシス富山」の登録証交付式を行う予定です。(取材をご希望の方は別紙1を参照の上、お申し込みをお願いいたします。)

「みなとオアシス富山」のポイント!!

★代表施設「岩瀬カナル会館」は江戸から明治にかけて北前船で栄えた歴史ある港町「岩瀬地区」の観光拠点であり、周辺の構成施設「北前船廻船問屋森家」や「旧馬場家住宅」では、北前船主・廻船問屋の住宅を見学できます。

★「富岩運河環水公園」から「岩瀬運河」を結ぶ運河クルーズ「富岩水上ライン」では、運河の中間にある構成施設「中島閘門」において、高低差 2.5m の水位調整を行う「水のエレベーター」が体験できます。

★代表施設「岩瀬カナル会館」では7月に「岩瀬みなと祭り」が開催され、江戸時代から伝わる富山市指定無形民俗文化財の民謡「岩瀬まだら」が披露されるほか、10月に構成施設「富岩運河環水公園」等で開催される「運河まつり」では運河クルーズの特別便が運航されるなど多くの人で賑わいます。



岩瀬カナル会館



富岩水上ラインと中島閘門



岩瀬みなと祭り

※「みなとオアシス」の関連情報については、下記 URL からご覧いただけます。

・国土交通省港湾局 HP : https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html

・一般財団法人ウォーターフロント協会 HP : <https://www.waterfront.or.jp/oasisu/about.html>

同時発表記者クラブ
富山県政記者クラブ
専門紙

＜問い合わせ先＞

(みなとオアシスについて) 国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
担当：舟川、永野 TEL 025-370-6706 FAX 025-280-8783

(登録証の交付について) 国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所 企画調整課
担当：舘下 TEL 076-441-1904 FAX 076-443-5320

○登録証の交付について

以下の日時に、「みなとオアシス富山」の登録証交付式を行います。

当日は国土交通省港湾局 衛藤海洋・環境課長から設置者および運営者の代表として、富山市の藤井市長に交付する予定です。

取材をご希望の方は下記の取材要領を参照の上、7月13日(水)12時00分までにお申し込みをお願いいたします。

日時:令和4年7月14日(木) 14時35分 ~ 14時55分

場所:岩瀬カナル会館 2階 大ホール

○取材要領

1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、下記(2)の必要事項を直接メールに記載の上、下記メールアドレスあてにお申し込み下さい。

(1) 申込期日は厳守をお願いします。(7月13日(水)12時00分必着)

- ・ 申込メールアドレス: pa.hrr-toyama_kikaku@mlit.go.jp



←QRコードを読み込むとメールが立ち上がります。

- ・ 担当 :国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所 企画調整課 館下
(TEL:076-441-1904)

※ 申込期日に間に合わない場合は、取材が出来ない場合があります。

(2) 直接メールに以下の事項を記載して下さい。

- ・ 所属クラブ名
- ・ 会社名及び部署名
- ・ 取材者の役職・氏名(取材者全員の役職・氏名を記載願います。)
- ・ 連絡先(代表者1名で可)

2. 取材時の留意事項について

(1) 受付場所

- ・ 受付場所 : 岩瀬カナル会館 2階 大ホール入口
- ・ 受付時間 : 14時00分 ~

(2) 注意事項

- ・取材中は身分証明書、自社腕章を必ず着用し、係員の指示に従って下さい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクをご着用頂くようお願いいたします。
また、風邪のような症状がある場合には来場をお控え頂きますよう、併せてお願い申し上げます。

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客施設、展望施設、多目的ホール
- ・観光案内施設
- ・駐車場、トイレ、津波避難タワー
- ・産地直売施設、レストラン など



標章
(シンボルマーク)

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など

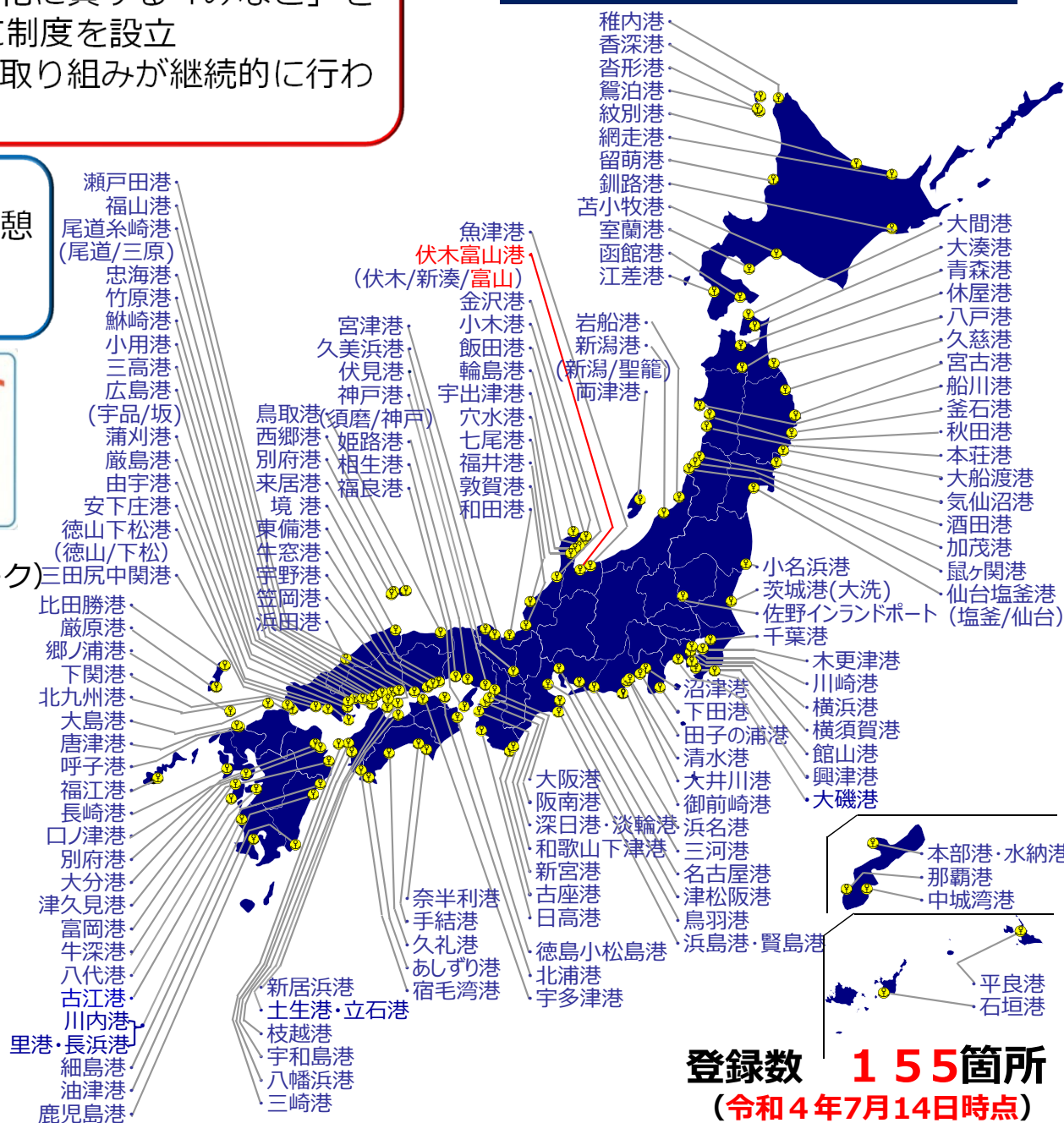


構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

みなとオアシス所在港湾の一覧



登録数 155箇所
(令和4年7月14日時点)

【概要】みなとオアシス富山



国土地理院地図（電子国土Web）(<https://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】

設置者	富山市
運営者	富山市
所在港湾	伏木富山港（富山地区）【国際拠点港湾】
港湾管理者	富山県
登録日	令和4年7月14日（予定）



【代表施設】



岩瀬カナル会館

【主なイベント】



岩瀬みなと祭り



運河まつり



富岩運河環水公園ライトアップ

みなとオアシス富山の周辺情報

みなとオアシス富山は、江戸から明治にかけて北前船で栄えた港町「岩瀬地区」をはじめ、旧船だまりを整備してできた都心の水辺空間「富岩運河環水公園」まで、観光名所が広がっている。

岩瀬と環水公園をつなぐクルーズ船「富岩水上ライン」で巡る市内観光も人気があり、富岩運河中流部の「中島閘門」で体験できる水のエレベーターはクルーズの魅力を高めている。



①岩瀬カナル会館【代表施設】



江戸から明治にかけて北前船で栄えた歴史ある港町「岩瀬地区」の観光拠点。物産館や飲食店のほか、各種会合やセミナーに適したホールや会議室がある。

施設は岩瀬運河に面し、クルーズ船「富岩水上ライン」の発着場があるほか、岩瀬の散策に便利なレンタサイクルも行っている。



②北前船廻船問屋森家【構成施設】

国指定重要文化財。北前船主・廻船問屋の邸宅であり、1878年に建築された。全国各地の材料を使った贅沢な造りであり、商談に使われたオイの間、玄関から船着き場まで通じるトオリニワ（土間通路）、土蔵のこて絵など見所が多数ある。ガイドによる説明が受けられる。



③旧馬場家住宅【構成施設】

国登録有形文化財。北陸の「五大北前船主」であった北前船主・廻船問屋「馬場家」の住宅である。東岩瀬では最大規模を誇る町家であり、加賀前田家の参勤交代に使われた旧北国街道沿いにあり、西門は昭和初期まで神通川に面していた。長さ30mのトオリニワ（土間通路）、33畳あるオイ（広間）などが見所である。



④富山港展望台【構成施設】

富山港のシンボリック施設。北前船の時代に燈台の役目を果たした「常夜灯」をイメージして建設され、高さ約20mの展望室から岩瀬の街並みや富山湾が一望できる。



⑤岩瀬運河【構成施設】

昭和15年開削。現在は、海洋スポーツ・レクリエーション基地として整備されている。プレジャーボートの係留流施設、岩瀬カナル会館などがある。



⑥岩瀬諏訪神社 岩瀬曳山車祭

岩瀬曳山車祭は、岩瀬諏訪神社の春季例大祭として、毎年5月17、18日に開かれている。昼間は曳山車の曳き回しが、夜は曳山車同士を激しくぶつけ合う曳き合いが行われる。曳き合いの激しさから「けんか山車」の異名でも親しまれる。



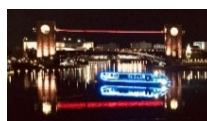
みなとオアシス富山の周辺情報

⑦富岩運河環水公園【構成施設】

富山駅北にある富岩運河の旧船だまりを都市の水辺空間として整備した市民の憩いの場である。

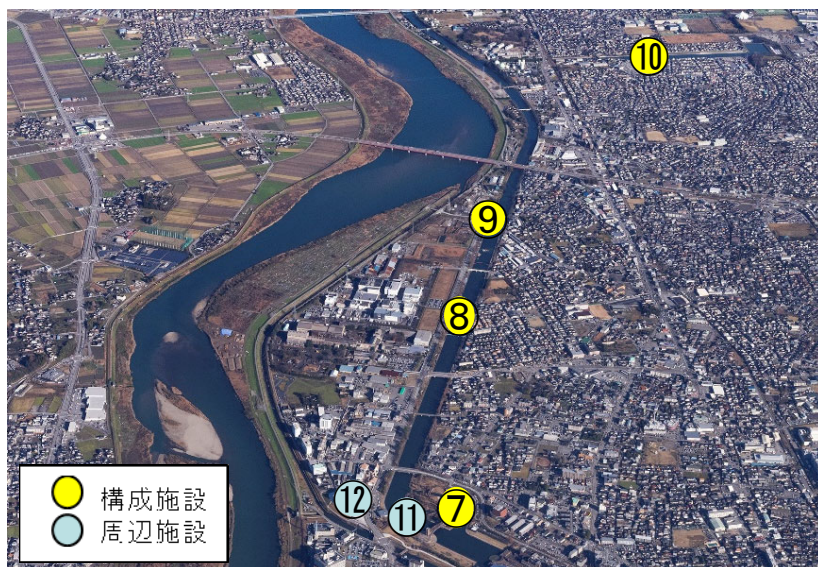
水辺を囲むように芝生が広がり、遊歩道が整備されている。滝が流れる「泉と滝の広場」や野外劇場、野鳥の観察舎などがあり、公園のシンボル「天門橋」の展望塔からは園内や立山連峰を一望できる。

富岩水上ラインが乗船場から運航するほか、夜は公園全体が幻想的にライトアップされて美しい。一年を通して多彩なイベントも開かれ、人気を集めている。



⑧富岩運河【構成施設】

富山港と富山駅北を結ぶ全長5.1kmの水運路。昭和初期の都市計画により昭和10年に完成し、運河沿岸には一大工業地帯が形成された。高度経済成長期に物流の変化などにより衰退したが、昭和60年以降に環水公園の整備や遊歩道の環境整備、閘門の復元工事が行われ、都市の親水空間として再生した。



⑨中島閘門【構成施設】

国指定重要文化財。昭和初期の都市計画で富岩運河の開削に合わせて運河中流部に設置された、上流と下流の水位差約2.5mを扉の開閉によって調整するパナマ運河式の閘門である。

現在は富岩水上ラインが通航し、閘門は水のエレベーターと呼ばれて注目されている。閘門とともに国の重要文化財に指定された操作室も一般公開している。



⑩住友運河【構成施設】

昭和15年開削。戦後、周辺は工業地帯として発展し、運河は貯木場として利用された。現在は周辺に住宅が建ち並び、遊歩道が整備されている。



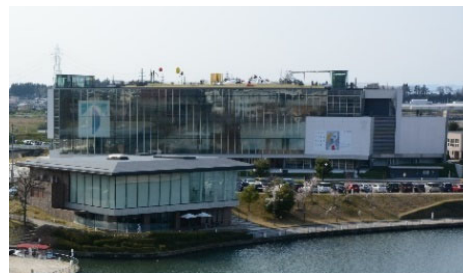
⑪富岩水上ライン



富岩運河環水公園と岩瀬を結ぶクルーズ船。環水公園～岩瀬、環水公園～中島閘門、環水公園周遊便の3コースがある。岩瀬便には路面電車の片道乗車券が付き、船と電車で市内観光できる。また中島閘門における水のエレベーターの体験が魅力。

船にはスタイリッシュなデザインのソーラー船や小型の電気ボートを使用。期間限定でナイトクルージングも運航する。

⑫富山県美術館



富岩運河環水公園内にあり、美術館からは環水公園や立山連峰を一望できる。

「アートとデザインをつなぐ」をコンセプトに企画展をはじめ、20世紀美術の巨匠らの作品、ポスター、椅子などのコレクションを展示する。

屋上にはオノマトペ（擬音語、擬態語）からデザインされた五感で楽しめる遊具があり、親子連れに人気がある。





【交通・アクセス】

■自動車

- ・富山駅 → (約20分) → 岩瀬カナル会館
- ・富山IC → (約35分) → 岩瀬カナル会館
- ・富山空港 → (約40分) → 岩瀬カナル会館

■電車(路面電車)

- ・富山駅 → (約25分) → 岩瀬浜駅
岩瀬浜駅から徒歩約3分